



## 自治会との行政懇談会

話し合った内容の一部を紹介します

皆さんからの提案や要望をまちづくりの生かします。

行政懇談会では、町長を先頭に幹部職員も地域に出向いて、住民の皆さんと様々な課題について直接、対話を行っています。住民の皆さんの声を行政運営の参考としながら、共に住みよいまちづくりを目指していきます。

▼問い合わせ 企画グループ ☎079 (435) 0356



▲北部子育て支援センターでは親子みんな仲良しです

### 少子化の対応は

町として少子化の対応は、どのようなことを考えていますか。

お答えします

町では、保育園の延長保育などの特別保育や小学校の学童保育への支援、幼稚園での3年保育を行っています。また、町内の北部と南部の子育て支援センターでは「おやこそろん」の開設、子育て相談や子どもの発育に応じた講座や親学習講座を実施しています。

また、乳幼児健診をはじめ各種母子保健事業や県制度を拡大し乳幼児医療費助成事業を実施しています。

今後は、育児支援家庭訪問事業、保育園における病後児保育や経済負担を軽減するため乳幼児医療費の助成の拡大を検討しています。

### 10月からの自治会行政懇談会について町長に聞きました。

行政懇談会への町長の思いは

それぞれの地域に向向いて課題や要望をお聞きし、行政から回答させていただくことで、地域の課題を共通認識し、協働への新たな一歩を踏み出せるものと期待しています。

懇談会で感じたことは

大きな自治会、小さな自治会と様々ですが、まちづくりにかける熱意はどこも同じだと感じました。行政もその熱意を共有したいと思っています。

時には厳しいご意見もあります。建設的なご意見に勇気づけられています。

意見や要望は多かったですか

多くのご意見、ご要望をいただいています。それぞれ記録、分類し各担当グループに対応を指示しました。予算化が必要なものについては、検討しています。

来年9月まで懇談会が続きます

これから実施する自治会においても、多くのご参加をお待ちしています。あなたの声をお聞かせください。

### 北小の廃校について

子どものことを一番に考え、早期解決をお願いしたい。

お答えします

播磨北小学校廃止問題をこれ以上引き延ばすと児童、保護者に一層の混乱を生じさせることになることから、平成19年3月31日に廃止するとした条例に従うことといたしました。

今後は、児童、保護者の不安を解消し、児童が安心して、転入先の学校に通学できるようにすることなどが重要であり、そのために最大限の取り組みを行ってまいります。

### 土山駅南側の開発は

土山駅南側の開発の進み具合はどのようになっていますか。

お答えします

土山駅南の整備については、住民の利便性と商工業の発展を図るため、はりま複合交流センター、公園、駐車場、駐輪場などを検討しています。

### 町内のバス運行を

高齢化が進む中でコミュニティバスの運行を望みます。

お答えします

高齢化が進む中で、自動車や自転車を利用できない方は、移動範囲が制約され日々の生活に不便を強いられています。

そのため、町内の駅や主要施設を巡回するバスについて、運行方法、経費、利用予測など実際の運行に向けて調査研究中です。

### 地域防犯について

防犯パトロールの強化と自治会や各種団体への取り組みに補助を望みます。

お答えします

下校時や夕暮れ時を中心に、警察OBが町内を巡回する防犯パトロールを実施しています。団体の防犯活動については、播磨町さわやかな環境まちづくり推進事業補助金を活用ください。



▲土山駅南広場とはりま複合交流センター建設予定地

### 大気汚染の測定は

企業のデータ改ざんもあり、大気測定箇所の増設を望みます。

お答えします

大気汚染の測定所については、役場庁舎屋上と宮西に測定所を設けています。神鋼の大気汚染については、東播磨県民局とともに指導を行っており、宮西の東播自動車教習所などに粉塵の監視施設や、役場庁舎では排ガスなどの数値を確認できるモニターを設置しています。



▲防犯パトロール隊の心強い巡回です